

Happy Smile

(発行) 日本共産党中央区後援会
大阪市をよくする中央区連絡会
〒540-0004 大阪市中央区玉造1-21-3
連絡先 電話 (06) 6762-6671
FAX (06) 6763-2716

残してよかったと思える大阪市に！

大阪市廃止住民投票 ふたたび否決！！



住民投票を終え、記者会見する両会の代表者のみなさん

私たちは住民投票によってもたらされた「対立と分断」を乗り越え、今回、賛成票を投じた人々の要求も受け止め、市民が一丸となって暮らしや福祉、景

大阪市をよくする会・明るい民主大阪府政をつくる会が共同声明

11月1日に投票が行われた「大阪市廃止・特別区設置」の是非を問う住民投票は、約1万7千票の差で「反対」が多数となり、大阪市の存続が決まり制度案は廃案となりました。

この間、長きにわたり大阪市

廃止Ⅱ「都構想」反対のたたかいに大奮闘された団体・地域連絡会のみなさん、立場を超えて大阪市の存続のために活動されたすべてのみなさんに心から感謝いたします。同時に、私たち「よくする会」「明るい会」のよびかけに共鳴をいただいたことに心から敬意を表します。

今回の勝利は、大阪市の存続が廃止かという将来の命運を決める問題について正面から向き合い、大阪市の未来を考えたことは、明日の大阪をつくる希望の光となるでしょう。

気回復、コロナ対策など日々の生活の安心を実現するために力を尽くすものです。

一方で、「都構想」推進に偏った「説明パンフ」や住民説明会など住民投票の中立・公正性が損なわれたことについては、投票の結果だけでなく、そのプロセスも検証されなくてはなりません。さらに、反対派の意見を「デマ」と誹謗・中傷し続けた維新の会の言動も批判されるべきと考えます。

開票後の記者会見で松井氏や吉村氏は「都構想」の再挑戦はないと言明しましたが、カジノ（IR）や大規模開発など課題は山積みです。

住民投票は終わりましたが、これから新たなたたかいが始まります。私たちは住民のみなさんと手を携え、「暮らし最優先」の大阪を実現するために引き続き頑張ることを決意するものです。

2020年11月2日

明るい民主大阪府政をつくる会
事務局長 荒田 功
大阪市をよくする会
事務局長 福井 朗



開票結果を受けて喜び合う市民

◆何回も学習しながら活動しながら、対話する中で自分が成長したと思います。若い人（18歳〜20歳台）が真剣に考えているなあと感じました。

（玉造・村上さん）

自分でも学び人に話しかける事ができました。

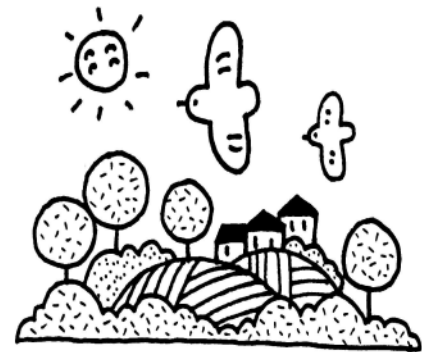
（しんぶん赤旗 11月2日）

◆私が住む地域の人達と仲良くなりました。町会が「住民投票の疑問に答える集会」を開かれ、それが町の人達の意識を変えたと思います。

（桃谷東平・山内さん）

◆5年前より学習をして対話をしました。事実を知ってもらったことが大事と思い自分の言葉で

話が出来てよかったし、楽しかったです。（うえに生協診療所 植村さん）



投票にいかないと行ってた人が対話により投票所で合った時「反対に入れてきたよ」の言葉がうれしかった

（玉造・田中さん）

◆日刊ビラを毎日受取り貯めているという男性や、もらったビラをもとに職場で話あっているという女性もありました。若い人が真面目に考えていることを

みんなで学んで みんなで語って
みんなで守った大阪市

11月2日夕、大阪市をよくする会・中央区連絡会、日本共産党、同後援会の3者は、住民投票の結果をうけて合同の報告集会を開催しました。約50人が集い参加者の主な方の発言要旨を紹介します。主な方の発言・アンケートの要旨を紹介します

しりました。

（玉造・島尾さん）

◆自分の住むマンションの住民となかなかお会いする機会もないので、「都構想」反対の自分の思いを訴えたいと思い、私の思いを短文に書きコピーして全戸にポストインしました。投票が終わって「私も大反対です」と言ってくれたのが大変嬉しかったです。

（桃谷東平・森さん）

◆新婦人の小組のあと、空堀ブラブラに参加しそこでハンドマイク・デビューをしました。その後ハンドマイク25回位できました。

（桃谷東平 片山さん）

◆「賛成に入れた人は何も分かってない」と思うのは間違い！その人達も大阪をよくするためにはよく考えて賛成にしています。その「大阪を良くしたい」の共通の思いを大切にすることが必要と思う。

（高津担当 桃井さん）



街頭で「反対を」と呼びかける山下よしき参議院議員

協定書による特別区枠	区名	投票率	賛成	反対	票差
淀川	此花区	62.2%	15,741	17,866	2,125
	港区	64.8%	18,491	24,527	6,036
	西淀川区	62.0%	22,971	25,511	2,540
	淀川区	58.5%	47,415	38,688	▲ 8,727
	東淀川区	57.3%	40,862	40,375	▲ 487
北	北区	62.6%	38,207	29,689	▲ 8,518
	都島区	65.8%	29,758	26,805	▲ 2,953
	福島区	64.8%	22,017	19,007	▲ 3,010
	東成区	64.0%	20,771	21,102	331
	旭区	65.2%	23,123	25,894	2,771
	城東区	67.2%	46,976	46,121	▲ 855
中央	鶴見区	65.2%	29,842	28,555	▲ 1,287
	中央区	59.5%	24,766	23,814	▲ 952
	西区	61.0%	26,824	23,026	▲ 3,798
	大正区	63.5%	15,911	18,278	2,367
	浪速区	48.2%	13,294	12,435	▲ 859
	住之江区	64.2%	31,150	32,838	1,688
	住吉区	64.1%	36,242	44,287	8,045
天王寺	西成区	53.5%	22,372	23,021	649
	天王寺区	69.1%	20,042	21,853	1,811
	生野区	59.1%	24,142	26,085	1,943
	阿倍野区	71.1%	28,578	34,814	6,236
	東住吉区	63.1%	32,404	36,098	3,694
天王寺	平野区	61.2%	43,930	52,307	8,377
大阪市計		62.4%	675,829	692,996	17,167

住民投票開票結果(2020年11月2日 大阪市選挙管理委員会発表に基づいて作成)

住民投票勝利・大阪市民の良識の力による歴史的勝利

2020年11月2日 日本共産党大阪府常任委員会

(1)

11月1日、大阪市民は「住民投票」で、再び「大阪市廃止」にきつぱり「反対」をつきつけ、歴史的勝利を収めました。何よりも「130年の歴史を持つ大阪市をなくしてはならない」と良識の力を発揮されたみなさんに心から敬意を表します。また、くらしに直結する大都市制度の改変という重い選択が迫られるなか、「賛成」に投じたみなさんの多くも大阪の変化・改革を願ったものでした。ともに手を取り合って、新しい大阪市をきずくための歩みをすすめたいと思います。

勝利のために力をつくしたすべての市民、各層・分野の市民団体、「大阪市をよくする会」「明るい民主大阪府政をつくる会」、党員と支持者のみなさんに心から敬意を表します。近畿・全国から支援・激励を寄せられたすべてのみなさんに心から感謝します。

(2)

「住民投票」をめくつては、昨年のダブル選挙での「維新大勝」のもとで、公明党が態度を急変させ、「法定協議会」や市議会、府議会では政党間の力関係が変わり、困難なたたかいを余儀なくされました。そのなかでも大阪府委員会は昨夏以来、「闘争本部」を設置し、「大阪市内合同会議」の定期開催など、勝利をめざす構えと諸方針を定め、臨みました。

住民投票では、維新が公明党



日刊ビラ437号より

「まるわかりパンフ」140万部の発行、全戸配布とともに14日間にわたって市内100カ所で開催した「日刊ビラ」、市民との「100万対話」などの活動を進めました。

多くの市民諸団体がそれぞれの立場から「大阪市廃止反対」の多彩な活動をくりひろげました。市民一人一人が手作りビラやポスターをつくって立ち上がり、SNSでも連日発信・拡散されていきました。全国から著名人・文化人の多くのアピールが発信されました。最終日には市民と野党の共同宣伝がおこなわれ、共同の力が発揮されました。

(3)

住民投票の論戦をつうじて、①「大阪市の廃止か、それとも130年の歴史をもつ大阪市の存続か」、②「権限・財源を奪われたなかで住民サービスの低下か、大阪市の力を生かした拡充か」、③「コロナ禍でなおカジノ、インバウンド頼みを続けるのか、命と福祉、暮らし第一へ転換するのか」という焦点がくつきりとうかびあがりました。「明るい会」「よくする会」は宣伝物とともに、告示後4回にわたる記者会見をつうじて、

論点と維新の主張・手法の問題点を明らかにしました。テレビ討論は告示前後10回おこなわれ、公開討論もあり、「反対派」を代表する日本共産党の姿が鮮明になり、山中智子市議団長らの訴えが茶の間でも広く共感を集

めました。

無党派層などへの働きかけのうえで、「反対」を押し付けるのではなく、情報提供をすすめるながら、ともに対話し、判断を促す方法は重要でした。

松井市長らは、論戦で追い詰められ、終盤には、市財政局がだした「218億円」負担増資料をめくつて「毎日新聞バッシング」「財政局長へのパワハラ」など異常極まるやり方で批判をかわそうとしました。しかし、こうした維新の手法そのものが市民にあいられず、逆に、彼らの墓穴を掘るものとなりました。

(4)

今回の勝利は、大阪の前途に希望をもたらすとともに、維新の政権補完と野党共闘つぶしの野望に打撃を与え、国政にも大きな影響を与えるものです。

同時に、維新政治を転換し、大阪市政、府政を市民の手に取り戻すたたかいは、いよいよこれからです。

大阪市の持てる大きな権限・財源を使って、新型コロナ対策をはじめ、福祉・医療・教育・防災・中小企業支援に力を注ぎ、市民の誰もが安心して、市民の声で動く自治体づくり、真の経済成長をとげる街へと変えていくことは、今回「賛成」に投じた方を含め、垣根をこえた市民大多數の願いです。今回発揮された市民の良識と共同の力をもとに、この道に大きく踏み出そうではありませんか。

日本共産党はその先頭にたつとともに、党の力量をさらに強め、来るべき解散・総選挙で政権とその補完勢力となる維新を少数に追い詰め、「野党連合政権」をきずくために全力をあげるものです。